

市長と語る地域懇談会 記録

【日時】平成26年11月20日(木)午後6時30分～8時30分

【会場】麓郷集落センター

【対象地域】麓郷

【出席者】35人

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
総務部	<p>住民が地域に住み続けることを考え合う研修会が当別町で開催された。今後、月1回合計20回程度続く。会議の中では、認知症、交通、医療などの課題があり、地域に住み続けられない実態が確認された。町内会ごとに活動に差があるのが現状。麓郷では地域でのつながりがあるので、例えば、「あそこのおばあちゃん退院してきたから様子を見ようね」などの会話があり、自然と地域内で見守りができている。ドイツなど北欧では福祉分野の公的支援は充実したものの、地域コミュニティが少ないために、地域に住み続けることに弊害が出てきている。やはり、地域づくり、集落づくりが大事だということ。富良野市でも「農村集落再生」が必要だと思う。</p>	<p>【市長】富良野は福祉の環境が整っている。例えば、あさひ郷など。高齢者の住みやすさは他自治体よりも整備されていると考えている。東山は昭和40年ころ4,000人だったが今は1,000人程度。なぜかという、土地条件が悪く農業経営が厳しくなったことが一つの要因。基盤整備が遅れてしまった。これからは環境整備を行い、農業を継続できる地盤をつくりたい。企業誘致による取り組みも提案されるが、富良野市は内陸のため困難（輸送コストなどの問題）。しかし、六花亭など雇用人数は十数人かもしれないが、そこに訪れる交流人口は年間12万人。交流人口が多いということは移住定住人口につなげられる可能性が高い。市街地には空店舗もあるが、他の自治体に比べると富良野市は少ない。他地域からお店を開きたいという起業家が多く、その支援も商工観光課で行っているところ。北の国からなどの観光による呼び込みから、次の一手が必要。そのために農業と観光の中心的な役割として麓郷の地域がある。人のつながりが強い麓郷に期待している。原始ヶ原などサイクリングロードの整備を検討していきたい。</p>
経済部	<p>名古屋で生まれ育ち、母の故郷が麓郷だったため新規就農として来年から本格的に農業を行う。叔父にあたる農家から経営移譲を受ける際に、新規就農は市が窓口、農家継承はJAが窓口など、対応に混乱した。また、3親等以内だと新規就農に対する支援が</p>	<p>【経済部長】新規就農に関する対応が混乱したことについてお詫びする。3親等の血縁関係があることによって、農家後継と新規参入の制度の狭間にあつたと認識している。今後は、新規就農、雇用就農、体験農業を一体的に実施・支援する担い手育成センタ</p>

	<p>受けられないなどもあり、新規就農の壁が高く感じた。市とＪＡの連携を密にしてほしい。</p>	<p>ーを整備する。</p> <p>【市長】新規就農については地域で受け入れる体制も必要。東山では地域の農業者を中心に受け入れ体制をつくった。山部では企業と農家で法人を立ち上げ、耕作地を守るために運営されている。市も一緒に地域のみなさんと考えていきたいので、情報共有をしていきたい。</p>
<p>商工観光室</p>	<p>麓郷街道にメロディロードをつくってはどうか。</p>	<p>【商工観光室長】道道にあたるどころ。提案として受け止め検討したい。</p> <p>【副市長】愛の鐘を「北の国から」のメロディに変えてはどうかという意見もあった。</p> <p>【市長】富良野市は全国市町村の魅力度ランキングで平成２６年度６位となっているが、理由を聞くと「なんとなく良い」という感想。大阪から東山に移住された方は、広い土地でラジコンヘリを楽しみ、また家庭菜園を楽しんでいる。そして、大阪などから友人を連れてきて富良野市の魅力を感じてもらっている。そうした富良野市の自然や農作物を活かした６次産業化を目指し、ＪＡともタイアップしながら加工品の検討をしてはどうか。麓郷は観光と農業の調和、そして地域のつながりも強いので体験農業やサイクリング競技を通じて、地域活性化を考えていきたい。</p>
<p>商工観光室</p>	<p>麓郷の魅力という点で、景色と空気が上げられる。また「北の国から」も有名ではあったが現代の若い方は知らない方が増えてきた。北の国からよりも「アンパンマンショップ」のほうが有名に。観光ルートを整備して麓郷だけでなく、富良野圏域一体の観光を推進してはどうか。</p>	<p>【商工観光室長】観光ルートについては沿線で話し合っている。観光分野は富良野市だけでも駄目。美瑛だけでも駄目。地域全体をマネジメントしていかなければならないと考えている。アンパンマンショップの上に行けば雲海も見られるなど観光資源を活かす取り組みを検討したい。また、高校生の体験農業は農業に関心を持ってもらうことにつながる。</p>

<p>経済部</p>	<p>先日、日高地方に行ったときに、おばあちゃんたちの手料理に感心した。いも団子やかぼちゃ団子が本当に美味しかった。大豆や小豆も美味しかったので商品化してみてもどうか、という話をした。</p>	<p>【市長】その土地の味を提供していくことは大事。そして、環境に配慮した農業ということで、衛生用品の固形燃料化に取り組んでいる。チップを混ぜて燃やせばハウス栽培ポイラーに活用でき、燃料費の抑制につながる。実用化にむけて進めていきたい。また、白鳥川の水車による発電で、学校の防災電源にしている。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>自衛隊道路（ベベルイ零号線）の除雪は行わないのでしょうか。</p>	<p>【建設水道部長】「原始の泉への水汲み」など通過交通が多いことは承知している。民家の張り付きが無い箇所については原則除雪を行っていないので、ご理解いただきたい。 平成25年10月の大雪の際、迂回するために利用した経過もある。今後、観光や防災の用途で利用が見込まれる場合は検討していきたい。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>平成25年10月の大雪で停電に見舞われた。そして今も、倒れかけの木々が散見される。停電になると農業にも影響があるので、倒木の危険があるものは処理できないか。今年4月に麓郷から市へ、市から道へ、危険箇所を伝えている。一部対応した。また、倒木が自家用車にぶつかり破損したが、自己処理（泣き寝入り）した方もいた。</p>	<p>【市長】東大演習林に要望している。防災の視点で文部科学省に申し入れしたい。また、市道については市が責任を持って対応したい。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>麓郷小中学校前のスクールゾーンが見えづらい。海外からの観光客が増えているので安全面で対応してほしい。</p> <p>校舎前の舗装をしてほしい。砂利のため車椅子の通行に支障がある。避難所にもなっているので対応が必要。</p> <p>スクールゾーンの設置は3年前から要望している。子どもの安全を守るために最優先してほしい。</p>	<p>【教育長】公安と協議しながら看板設置を検討したい。</p> <p>【教育長】全体を整備すると2千万かかる。整備箇所を含め地域のみなさんと協議したい。</p> <p>【市長】平成27年度予算において前向きに検討したい。</p>

